

# 退職前後世代が経験した資産承継に関する実態調査

2020年10月

MUFG資産形成研究所

三菱UFJフィナンシャル・グループ

資料作成日：2020年10月16日

# 調査概要

- (1) 調査名： 退職前後世代が経験した資産承継に関する実態調査
- (2) 調査方法： リサーチ会社を利用したWEBアンケート
- (3) 調査期間： 2020年3月19日(木)~3月21日(金)
- (4) 調査対象： 50代・60代の男女（相続経験者、かつ、各都道府県の家計資産額\*以上）
- (5) 調査地域： 全国
- (6) 有効回答者数： 5,838サンプル

\* 各都道府県の家計資産額は総務省「平成26年全国消費実態調査」都道府県別 1世帯当たり家計資産の内訳（二人以上の世帯）を参考に設定。

※本資料内の数値はスクリーニング調査における各都道府県の家計資産額（各都道府県の平均額以上）の出現率に合わせてウェイトバック集計を実施した後の数値を記載。

※ウェイトバック集計を実施する前のサンプル数がn=50未満は参考値として記載。

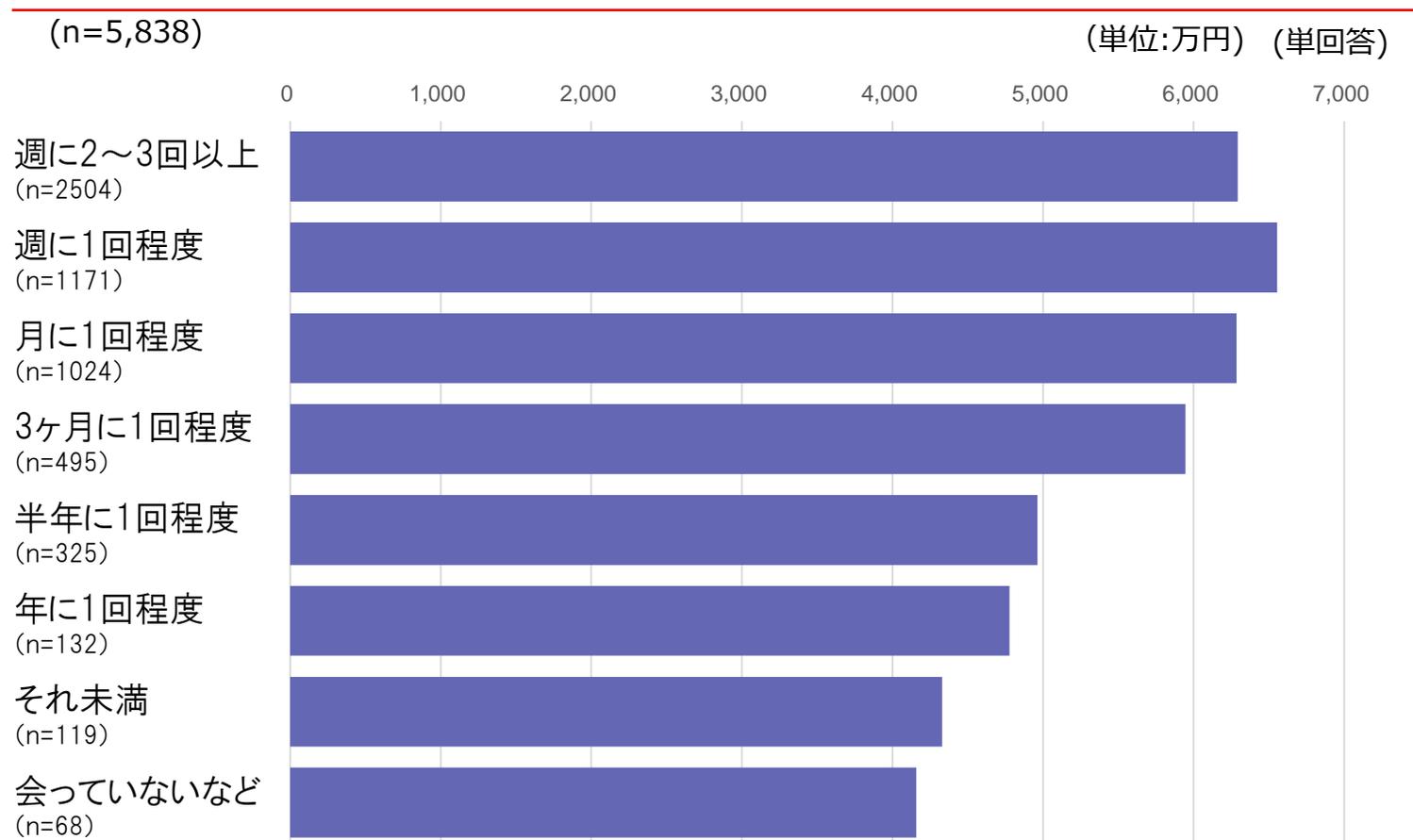
1. 相続財産と親子のコミュニケーション
2. 相続財産としての、現預金と有価証券の相違
3. 非金融サービスの利用意向

# 1. 相続財産と親子のコミュニケーション

# 1. 相続財産と親子のコミュニケーション

## 親の相続財産額\*

-親子のコミュニケーション頻度（対面・電話等で最も頻度が高いもの）別-  
(回答者)全員



\* 現金・預貯金(死亡保険金を含む)、有価証券(株式・債券・投資信託)等の金融商品(保険は除く)の評価額、不動産(土地・建物)の評価額、その他資産の評価額、借入金の額の合計

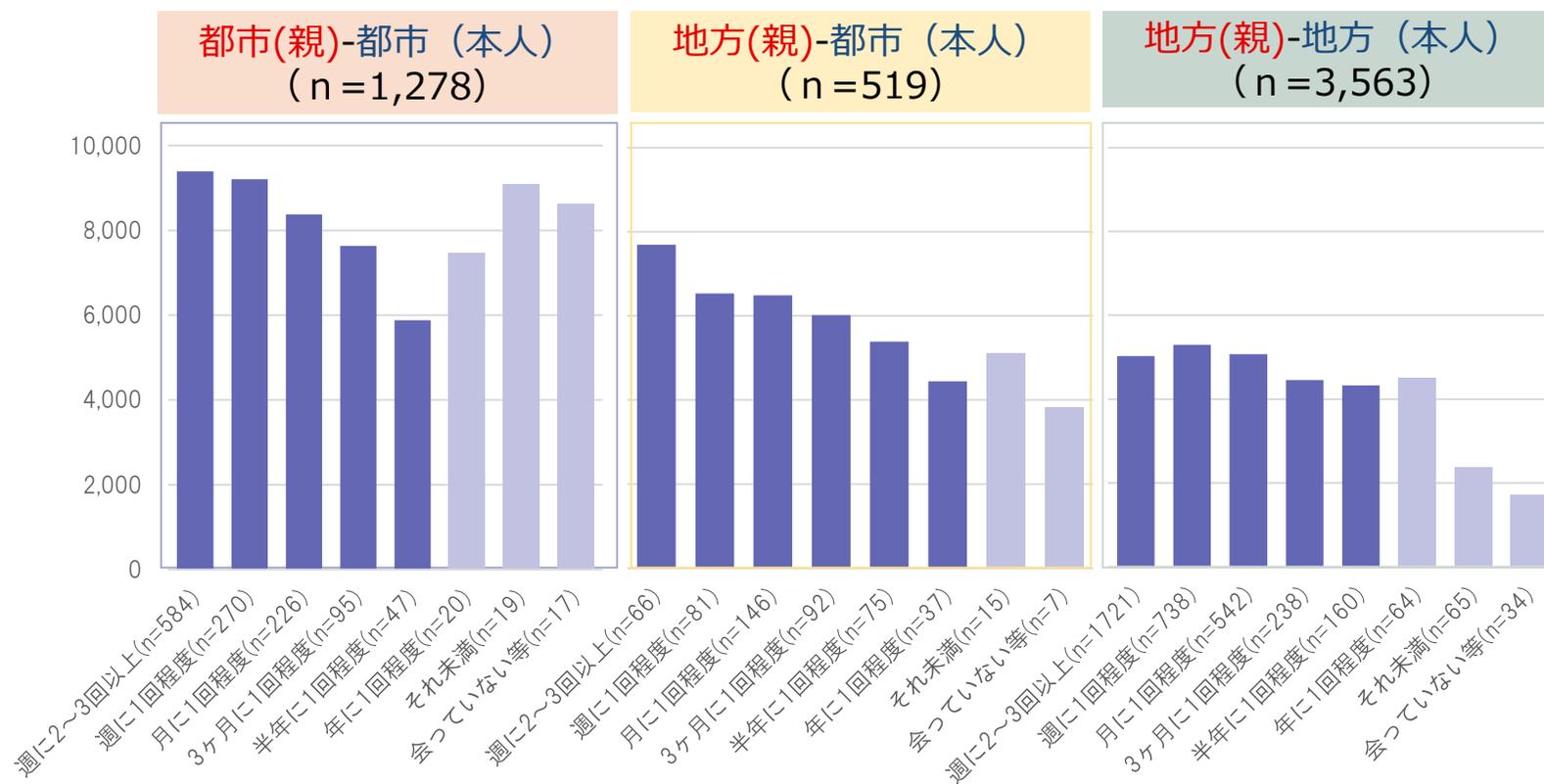
# 1. 相続財産と親子のコミュニケーション

## 親の相続財産額\*1

-親子のコミュニケーション頻度（対面・電話等で最も頻度が高いもの）別-  
（回答者）全員\*2

(n=5,361)

(単位:万円) (単回答)



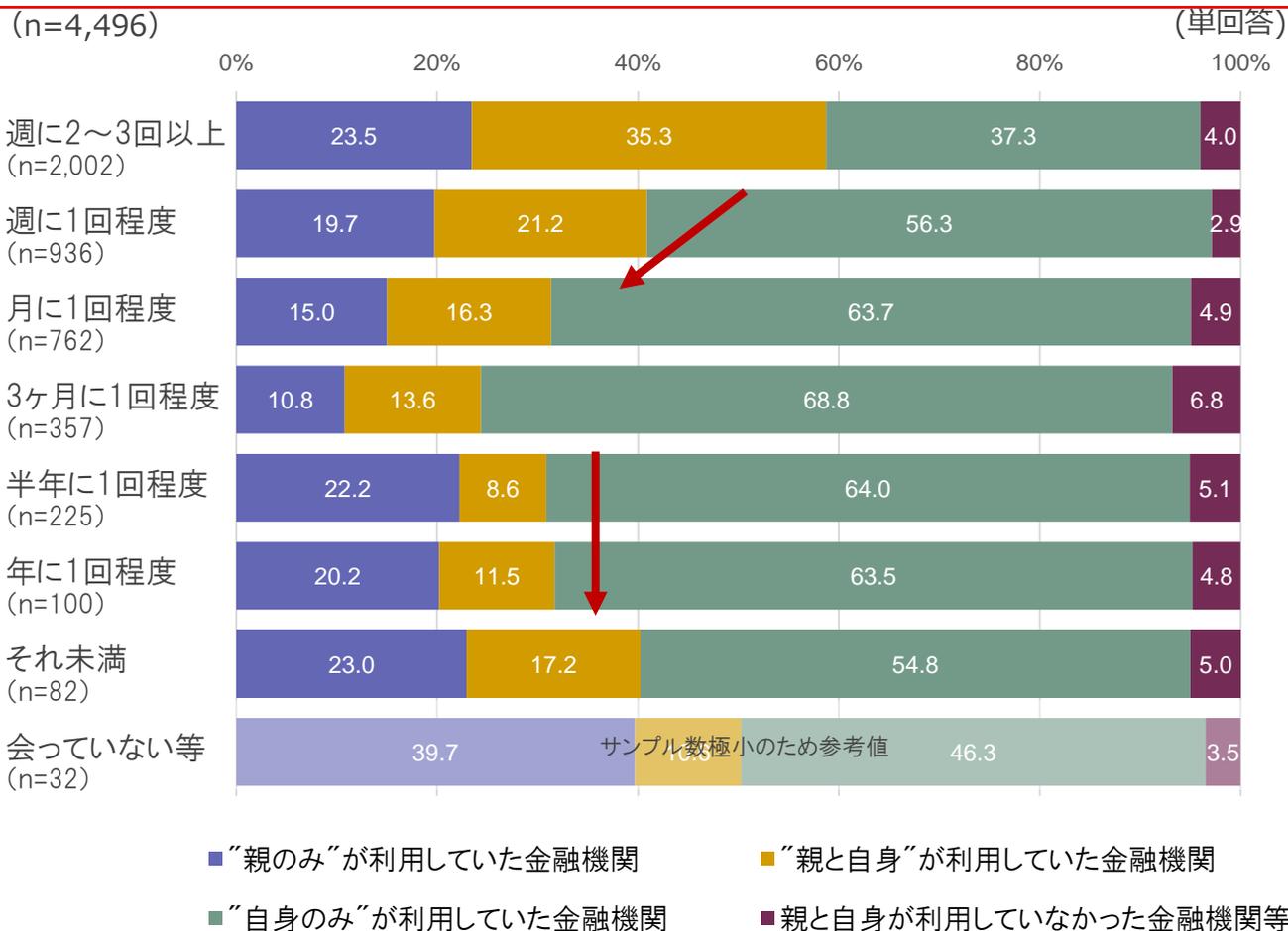
\*1:現金・預貯金(死亡保険金を含む)、有価証券(株式・債券・投資信託)等の金融商品(保険は除く)の評価額、不動産(土地・建物)の評価額、その他資産の評価額、借入金の額の合計

\*2:親が都市、子が地方に居住しているケースは除外 \*2:親の居住地について、両親の居住地が父親と母親で異なる場合は除外

※「年に1回程度(地方-都市除く)」「それ未満」「会っていない」は対象サンプル数(ウェイトバック前)が極小のため参考値

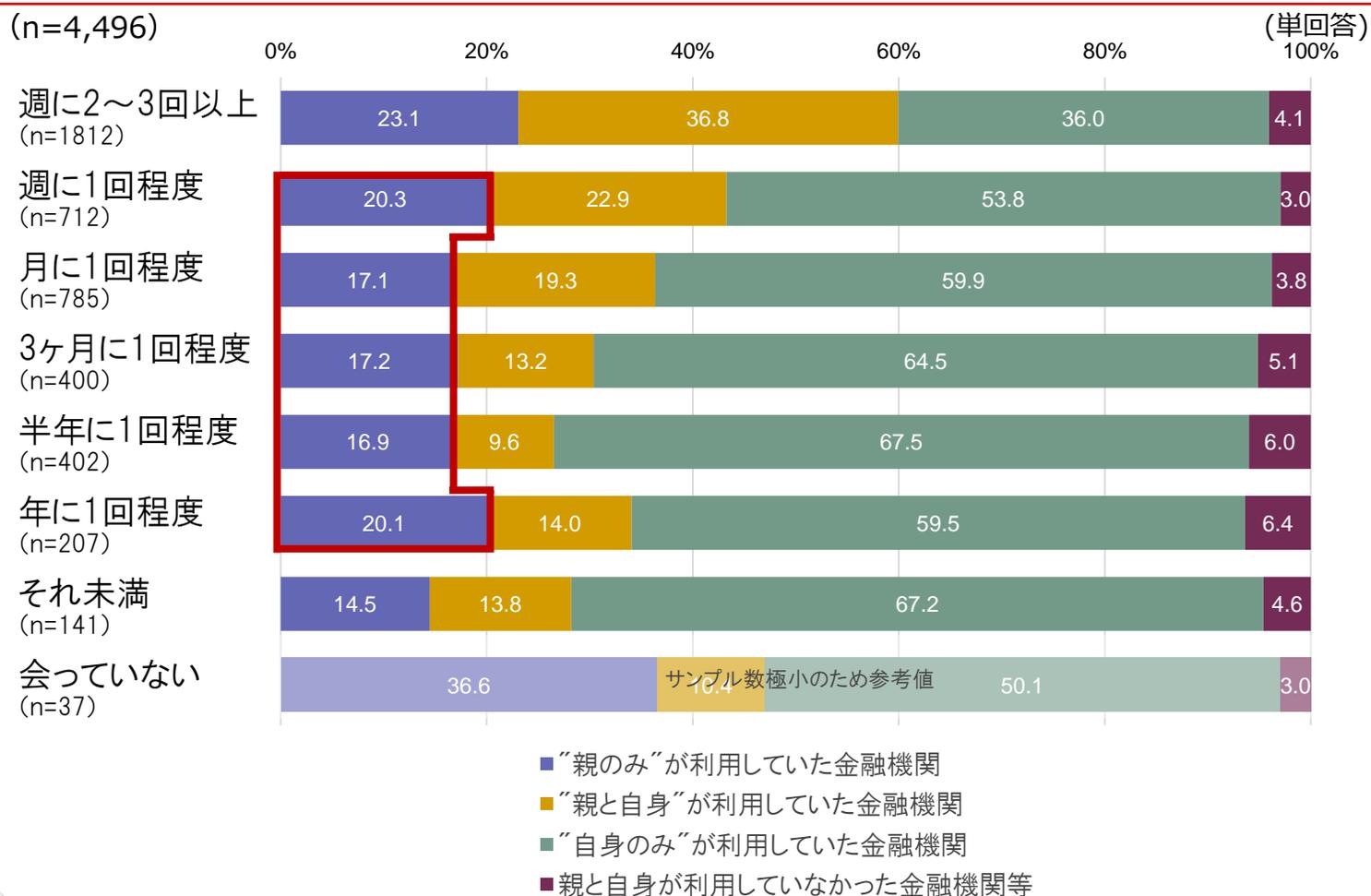
# 1. 相続財産と親子のコミュニケーション

## 親から自身が相続した現預金を主に預けた金融機関 -親子のコミュニケーション頻度（対面・電話等で最も頻度が高いもの）別- (回答者)親からの相続財産に現預金が含まれる人



# 1. 相続財産と親子のコミュニケーション

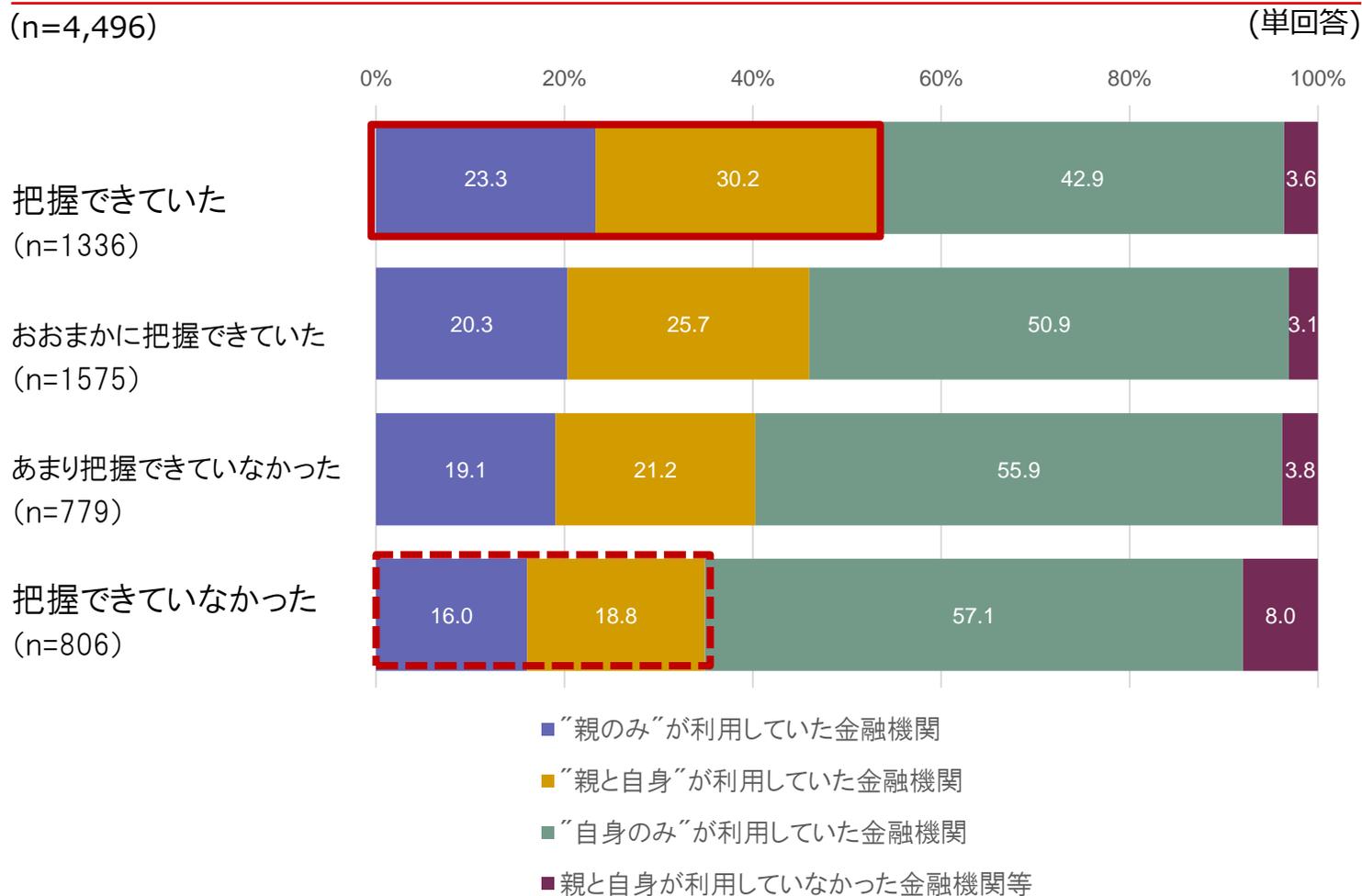
親から自身が相続した現預金を主に預けた金融機関  
 -対面での親子のコミュニケーション頻度別-  
 (回答者)親からの相続財産に現預金が含まれる人



※「会っていない」は対象サンプル数(ウェイトバック前)が極小のため参考値

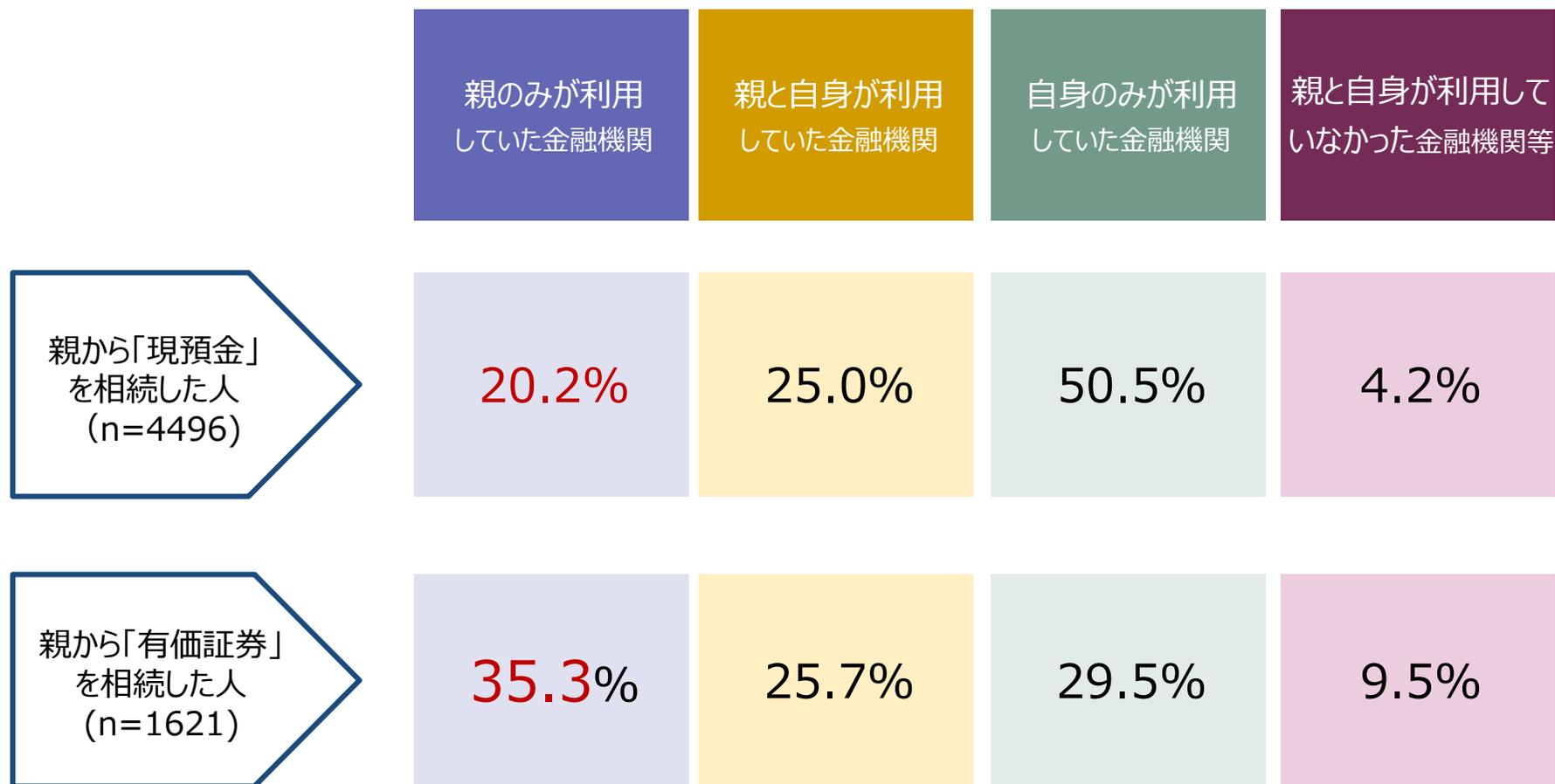
# 1. 相続財産と親子のコミュニケーション

## 親から自身が相続した現預金を主に預けた金融機関 -自身の親の財産管理に関する意向把握別- (回答者)親からの相続財産に現預金が含まれる人



## 2. 相続財産としての、現預金と有価証券の相違

## 2. 相続財産としての、現預金と有価証券の相違



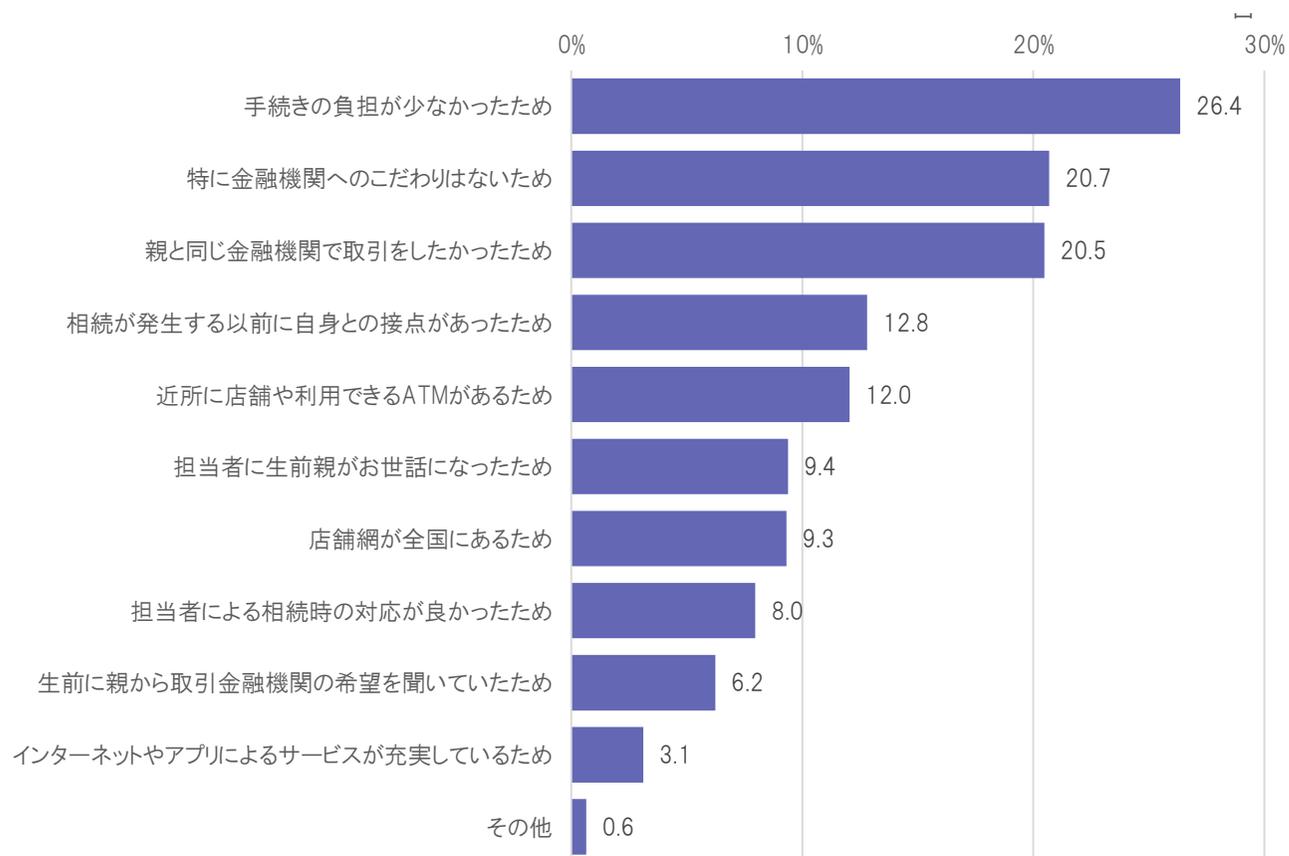
## 2. 相続財産としての、現預金と有価証券の相違

### 親から自身が相続した現預金の主な預け先に『親のみが利用していた金融機関』を選んだ理由

(回答者)親から相続した現預金の主な預け先に『親のみが利用していた金融機関』を選択した人

(n=909)

(複数回答)



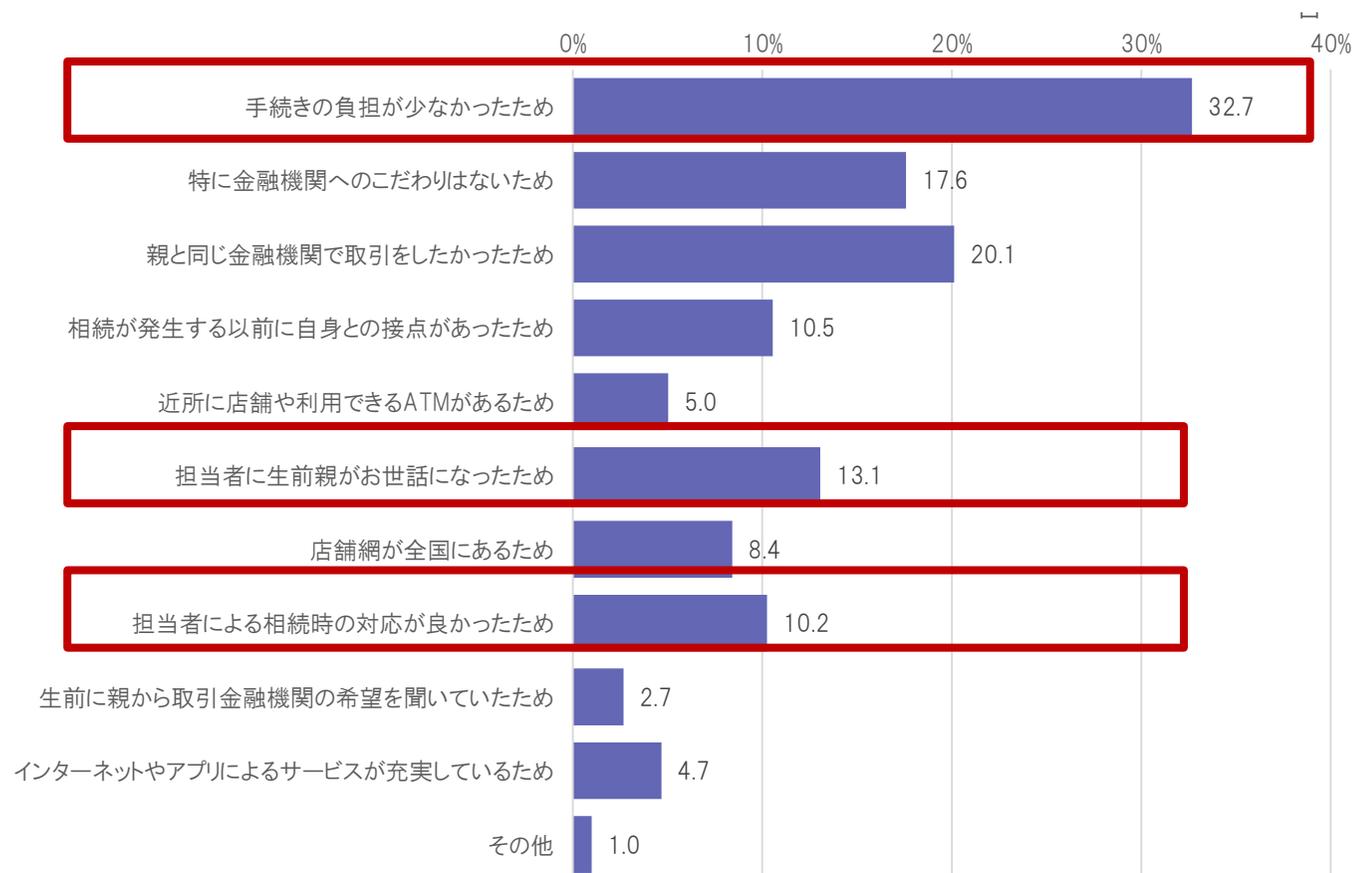
## 2. 相続財産としての、現預金と有価証券の相違

### 親から自身が相続した有価証券の主な預け先に『親のみが利用していた金融機関』を選んだ理由

(回答者)親から相続した有価証券の主な預け先に『親のみが利用していた金融機関』を選択した人

(n=572)

(複数回答)

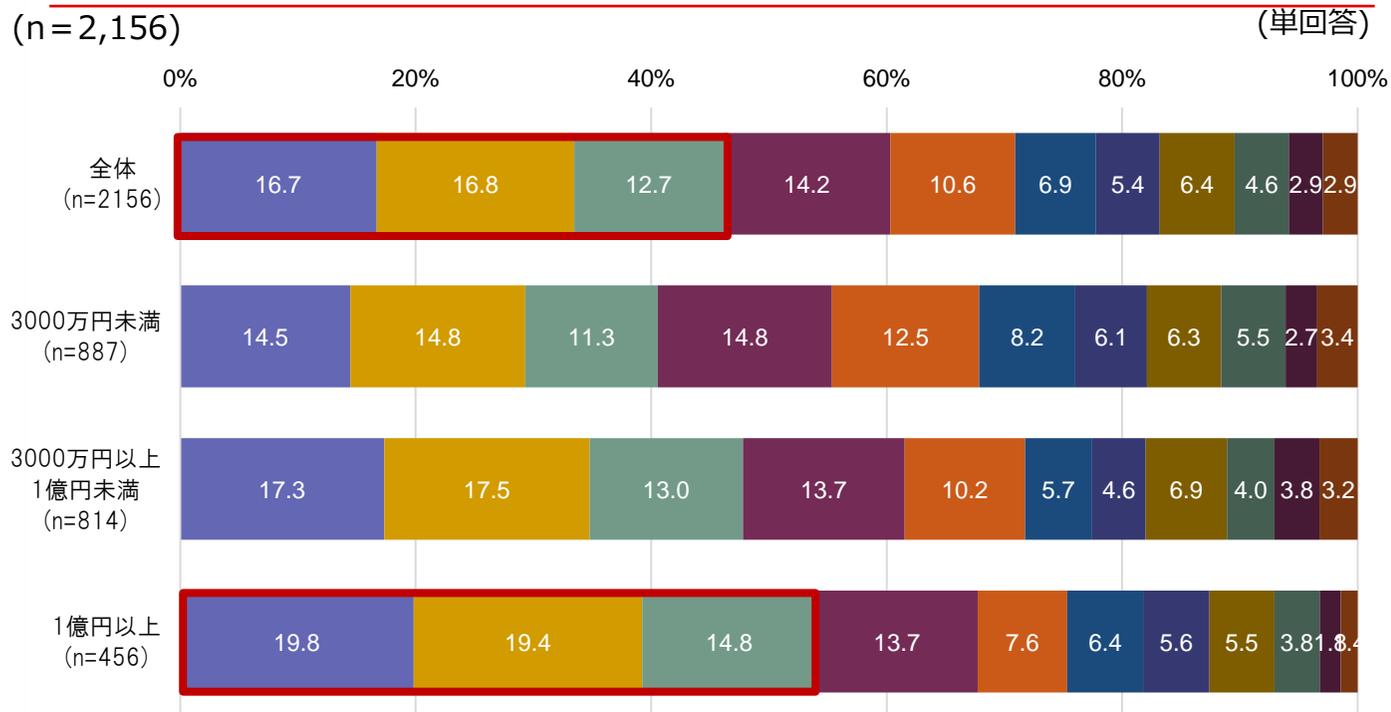


### 3. 非金融サービスの利用意向

# 3. 非金融サービスの利用意向

## 金融機関での取引に付随して最も利用したい（したかった） と思う有料サービス

(回答者)「利用したい」と回答した人



- 節税対策に関する情報提供や税理士などの紹介
- 認知症を患ったときの財産管理支援
- 不動産の売却や購入に関する情報提供や業者の紹介
- 死後の遺品整理や住居家財の片づけに関する情報提供や紹介
- 最適な介護施設や介護サービスの情報提供や紹介
- 老後の就職先について情報提供や就職支援
- 入院時の付き添いや身元保証人に関する情報提供や支援
- 離れて暮らす家族の日々の健康状態や生活状況の見守り支援
- 家事代行サービスの情報提供や紹介
- Uターン等の検討先に関する居住物件の紹介や就職先の支援等
- 地域のコミュニティやイベントの情報提供や紹介

### 3. 非金融サービスの利用意向

非金融サービスの  
利用意向が高い  
子世代の特徴



親の相続財産額が大きい人

①

退職金の運用について  
金融機関等への  
相談経験や意向がある人

②

Uターン意向がある人

③

女性 > 男性

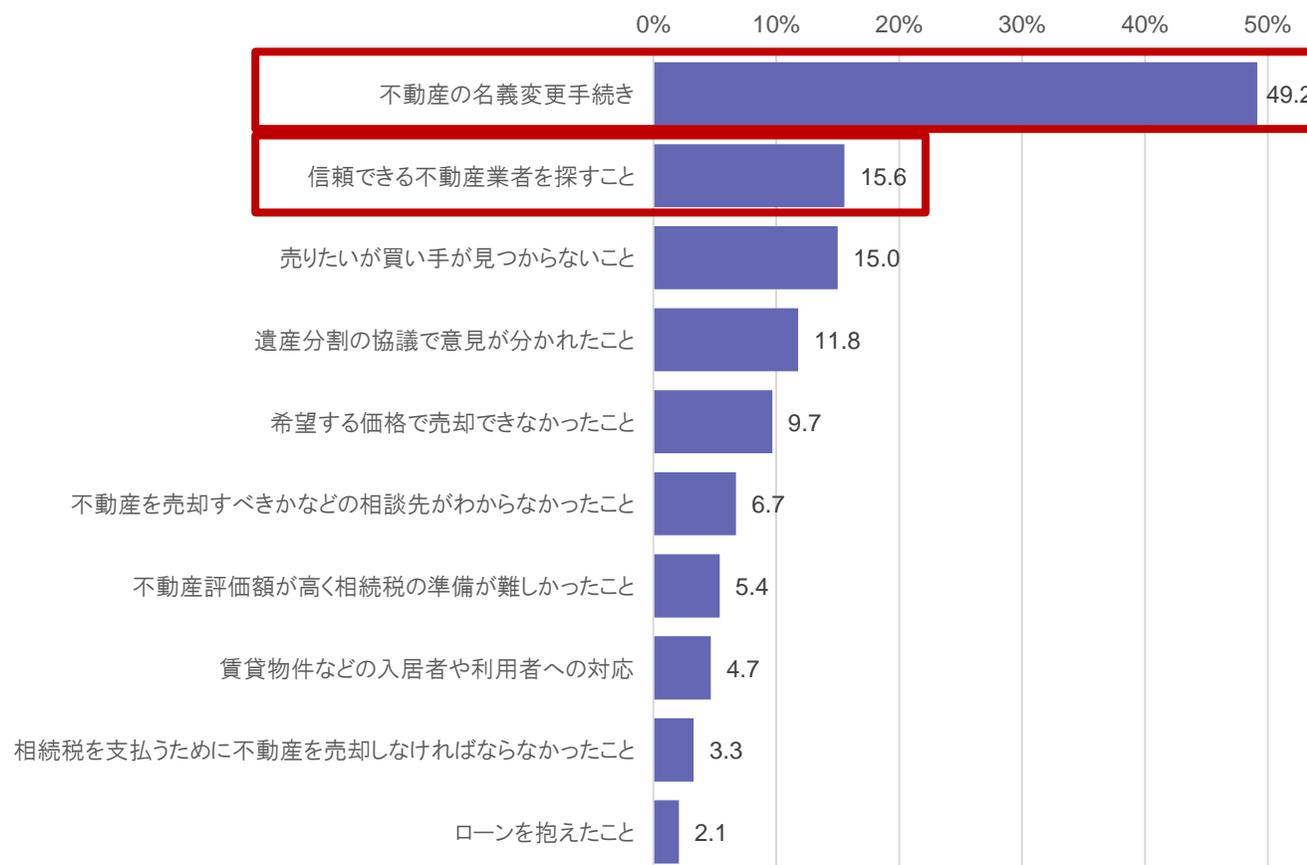
### 3. 非金融サービスの利用意向

#### 相続財産に不動産があったことによる困り事

(回答者)相続財産に不動産があったことによる困り事があった人

(n=1,680)

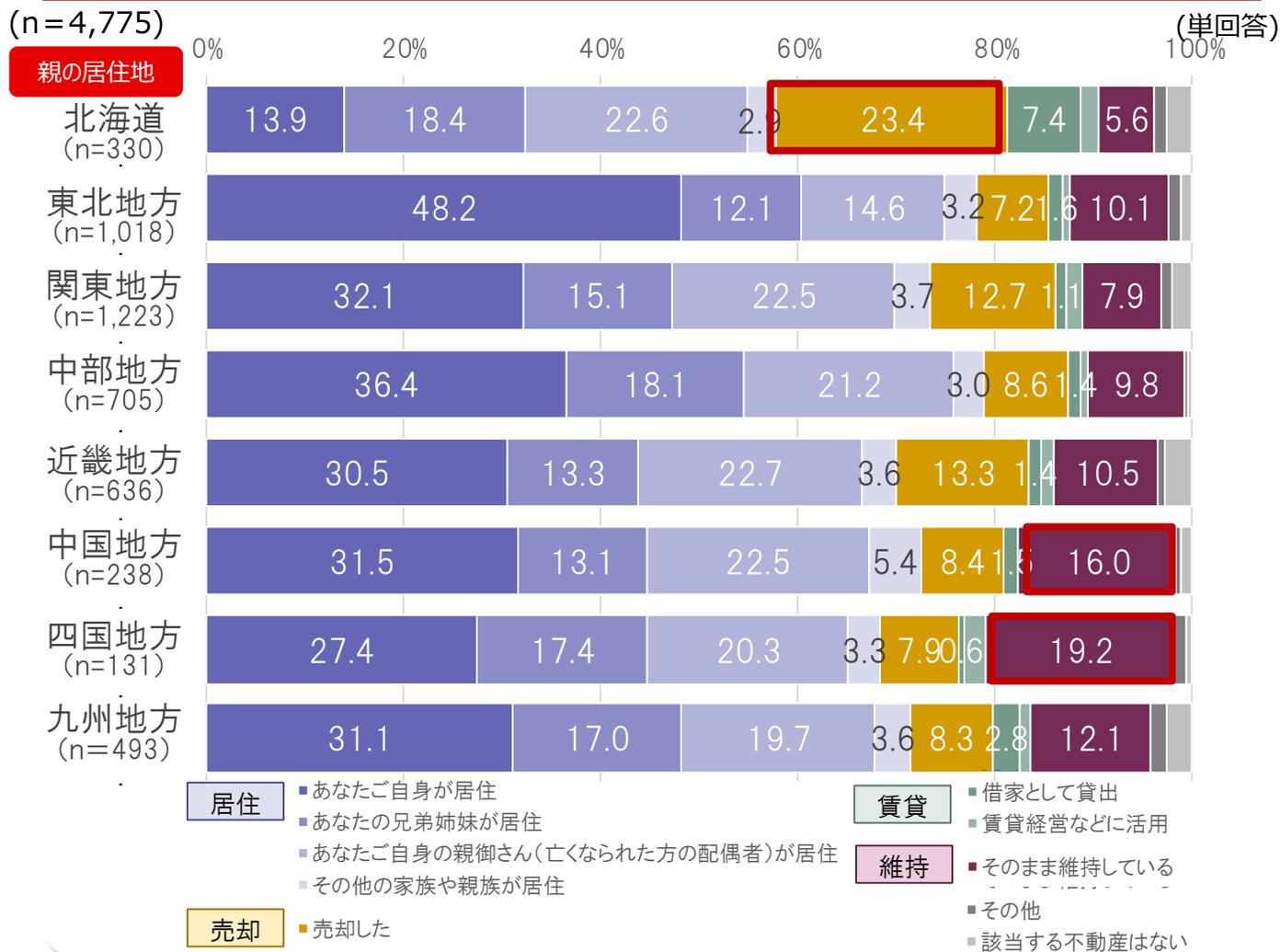
(複数回答)



# 3. 非金融サービスの利用意向

## 相続した不動産の状況

(回答者)親の相続財産に不動産が含まれる人\*



\* “親の居住地”について、両親の居住地が父親と母親で異なる場合は除外

# ご留意事項

- MUFG資産形成研究所は、三菱UFJ信託銀行が、現役世代から退職後の世代までを対象に資産形成・資産運用に関する調査・研究等の活動を行う際の呼称です。
- 本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品の取得・勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載の情報は作成時点のものです。また、本資料は三菱UFJ信託銀行が各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性について保証するものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、三菱UFJ信託銀行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は三菱UFJ信託銀行の著作物であり、著作権法により保護されております。本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、三菱UFJ信託銀行までご連絡ください。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行 資産形成アドバイザー部  
E-mail : [mufg-sisan\\_post@tr.mufg.jp](mailto:mufg-sisan_post@tr.mufg.jp)

三菱UFJ信託銀行株式会社 資産形成アドバイザー部  
〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

[www.tr.mufg.jp/shisan-ken/](http://www.tr.mufg.jp/shisan-ken/)

MUFG資産形成研究所は、三菱UFJ信託銀行が資産形成・資産運用に関する調査・研究等の活動を対外的に行う際の呼称です。